

### I 出会い・結婚・妊娠・出産の希望の実現

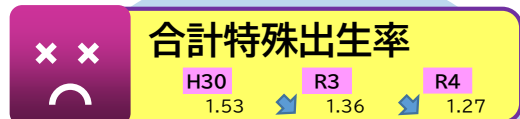
※指標の現況を3段階で表しています。



モニタリング指標 =

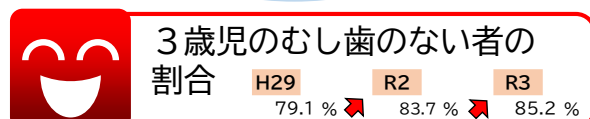
#### ◆令和4年度指標実績概況

##### ★家庭を築き子どもを生み育てる環境づくり

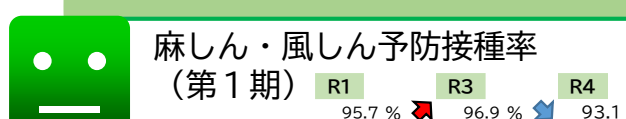
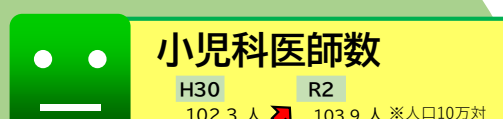


〈少子化関連指標〉		全国	福島県
合計特殊出生率	R3	1.30	1.36
	R4	1.26	1.27
50歳時未婚割合	男【R2】	28.25 %	28.33 %
	女【R2】	17.81 %	15.25 %
平均初婚年齢	夫【R4】	31.1 歳	30.7 歳
	妻【R4】	29.7 歳	29.1 歳
有配偶出生率	【R2】	73.0 %	72.1 %

##### ★切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健・医療対策



※黄色塗り潰し = 総合計画の基本指標(以降同じ)。



#### ◆結果の分析と主な課題・対策

○合計特殊出生率については、これまで全国平均を上回って推移してきたが、△0.09と大きく減少し1.27とほぼ全国平均並となった。(東日本大震災の影響を強く受けたH23からH24の同出生率の減少幅が△0.07であることを踏まれば、大変厳しい状況である。)

○婚姻件数については、全国では3年振りに増加に転じているが、本県においては、前年と比べ258組減少した6,088組となり、過去最少を更新した。

○出生数は、9,709人と初めて1万人を割り込み過去最少となった。20年前と比較すると全国においては33%減少(H14:1,153,855⇒R4:770,747)であるが、本県は50%減(H14:19,466⇒R4:9,709)であり、全国よりも急速に少子化が進行している。

○合計特殊出生率、婚姻数、出生数については総合(マクロ)指標であり、本分野で示す補完指標や関連事業だけでなく、次ページ以降に示す全分野の総体として捉えるべきものである。各分野における補完指標は、若干の減少はあるものの概ね満足できる水準にあるものや良好なものが多いが、総合指標の改善には至っていない状況にある。

#### ◆対応する行動計画と主な令和5年度事業

##### I-1-(2) 若者の就業に対する支援

- ふくしまで働こう!就職応援事業
- 企業の魅力「気づき・発信・体験」プロジェクト
- ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業
- “医療の仕事”魅力発信事業

##### I-1-(3) 独身男女の交流等への支援

- 結婚・子育て応援事業

##### I-2-(1) 安心して妊娠・出産・子育てできる保健・医療体制の整備

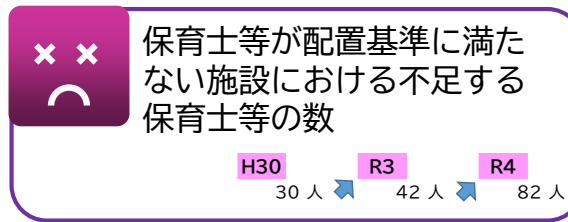
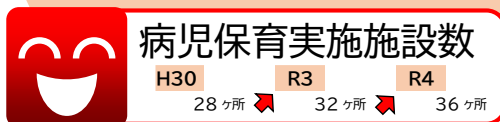
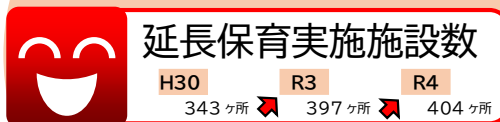
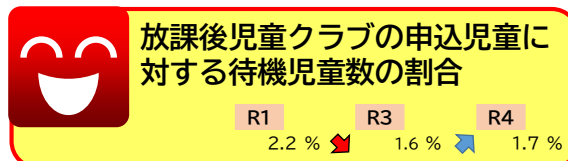
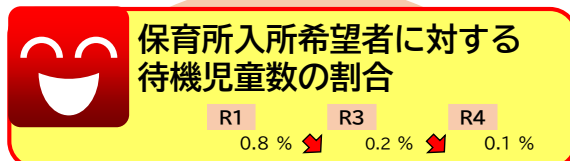
- 地域医療介護総合確保事業
- ふくしま子ども・女性医療支援センター運営事業
- 予防接種事故対策負担金(予防接種普及費事務経費)

##### I-2-(3) 妊娠期からの継続的な支援体制の強化

- 子どものむし歯緊急対策事業
- 市町村妊娠出産包括支援推進事業

## Ⅱ 子育て支援

### ◆令和4年度指標実績概況



### ◆結果の分析と主な課題・対策

○保育所等の整備による定員の増加で待機児童数（割合）は減少しており、また延長保育施設及び病児保育施設を設置する市町村に対して支援したことにより、延長保育・病児保育を実施する施設は増加している。しかし、施設の増加、及び低年齢児や支援が必要な児童の増加により保育士が不足しており、保育人材の確保が課題となっている。

○「放課後児童クラブ」については、クラブの増設を支援したことにより待機児童数は減少したが、放課後児童支援員の不足や実施場所の確保が課題となっている。

### ◆対応する行動計画と主な令和5年度事業

#### Ⅱ-1-(1) 保育の受け皿の整備

- 認定こども園施設整備事業
- 教育・保育施設整備事業

#### Ⅱ-1-(2) 保育人材の確保

- 保育士修学資金貸付等事業
- 保育人材総合対策事業
- 保育人材確保対策事業

#### Ⅱ-1-(5) 子育て支援の拠点や子どもの居場所づくり

- 放課後児童クラブ施設整備事業
- 放課後児童支援員認定資格研修事業

#### Ⅱ-1-(6) 多様なニーズに対応した子育て支援サービスの推進

- 病児保育促進事業

## Ⅲ 子どもの健やかな成長と自立

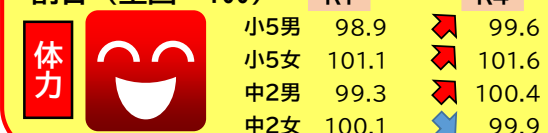
### ◆令和4年度指標実績概況

#### ★教育の充実

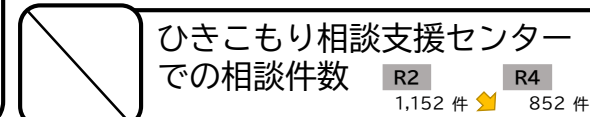
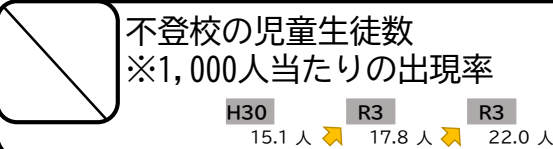
ふくしま学力調査の結果の経年比較により、学力が伸びた児童生徒の割合



全国体力・運動能力、運動習慣等調査における新体力テストの全国平均との比較割合（全国=100）



#### ★子どもの尊重と生きる力の応援



### ◆結果の分析と主な課題・対策

○各学校、各学級における結果分析と授業改善をどのように推進していくかが課題。県が公表している「ふくしま学力調査分析報告書」や「学力の伸びを引き出した学校の取組事例集」等の公表資料、オンライン説明会等を通して、継続して働きかけていく方針である。

○「ひきこもり相談支援センター」への相談者の実人数は271名であり、年齢別に見ると10代から30代までが210名を占める。引き続き、関係機関と連携を図りながら一時窓口であるセンターの周知に努めるとともに相談の内容に応じて適切な支援機関につないでいく。

### ◆対応する行動計画と主な令和5年度事業

#### Ⅲ-1-(4) 不登校やひきこもり状態等の子どもへの支援

- ひきこもり対策推進事業
- 不登校・いじめ等対策推進事業

#### Ⅲ-2-(2) 健やかな体の育成

- チャレンジふくしま 豊かな遊び創造事業（ふくしまっこ遊び力育成事業）
- ふくしまっ子健康マネジメントプラン

#### Ⅲ-2-(3) 確かな学力の育成

- 一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業

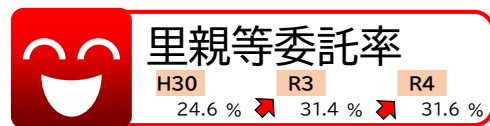
#### Ⅲ-2-(5) 学校の教育環境の整備

- 少人数教育推進事業

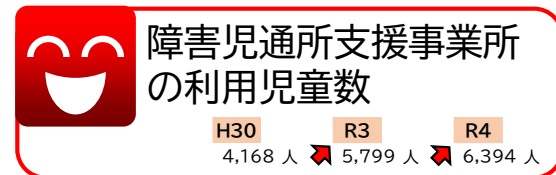
## IV 援助を必要とする子どもや家庭への支援

### ◆令和4年度指標実績概況

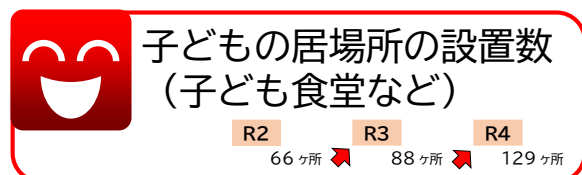
#### ★児童虐待防止



#### ★障がい等のある子どもへの支援



#### ★子どもの未来が貧困に妨げられないための支援



### ◆結果の分析と主な課題・対策

- 児童虐待対応における警察、学校、各自治体間の連携が進んだこと等により、児童虐待対応件数は高い水準にある。児童相談所において引き続き適切に対応していく。
- 「里親等委託率」については、家庭養育優先の原則の実現に向けた取り組みを進めており、今後も引き続き児童相談所等関係機関と連携しながら新規里親の増加と里親等への委託を推進していく。
- 「子どもの居場所」については、県による開設費用の補助や民間団体による助成、民間ネットワークによるノウハウの提供等が設置数の増加に繋がったと考えられる。

### ◆対応する行動計画と主な令和5年度事業

#### IV-1-(3) 児童虐待防止体制の整備

- 虐待から子どもを守る総合対策推進事業
- 児童相談所費行政経費

#### IV-1-(4) 家庭での養育が困難な子どもや虐待を受けた子どもに対する支援

- 里親総合対策事業

#### IV-2-(2) 発達障がいのある子どもの早期発見・早期療育のための支援

- 発達障がい者支援体制整備事業
- 発達障がい者支援センター運営事業

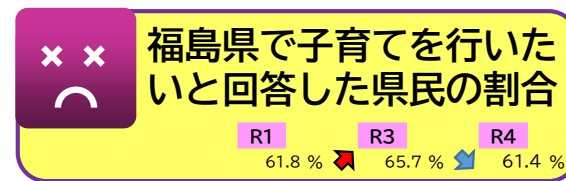
#### IV-3-(5) 地域で支援を届ける仕組みづくり

- 子どもの居場所づくり支援事業

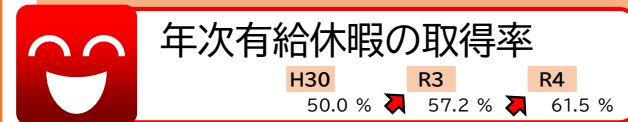
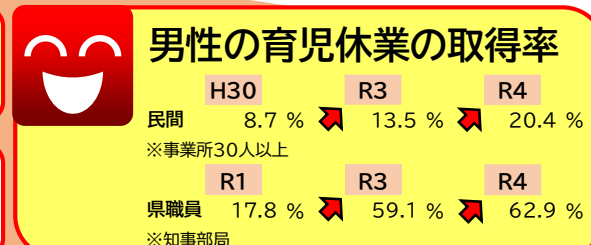
## V 子育てを支える社会環境づくり

### ◆令和4年度指標実績概況

#### ★地域ぐるみでの子育て支援の推進



#### ★子育てと社会参加の両立のための環境づくり



### ◆結果の分析と主な課題・対策

- 「男性の育児休業の取得率」は年々増加しており、男性の家事・育児への参画や仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）は着実に進行しているが、一方で「福島県で子育てを行いたいと回答した県民の割合」は令和2年以降、微減傾向にある。本指標については、コロナ禍において社会全体における自粛ムードが長期化し、結婚・出産・子育てに対する県民の意欲の低下につながったとみられるが、共働き世帯が多数派となった現在においては、子育てしながら働き続けられる環境の有無が当該指標に大きく影響すると考えられることから、仕事と家庭が両立できる環境の整備をより一層推進していく必要がある。

### ◆対応する行動計画と主な令和5年度事業

#### V-1-(4) 子育て支援団体や企業等による子育て支援活動の充実

- 子育て・子育て環境づくり総合対策推進事業（地域で支える子育て推進事業）
- 子育て応援パスポート事業

#### V-2-(2) ワーク・ライフ・バランスに配慮した働き方の普及促進

- 女性活躍促進事業
- 女性活躍・働き方改革促進事業